

街暮らしの新たな魅力を見つけるために

佐賀で自分らしく暮らす人にお話を伺いました。

池田 真由美さん

メッセージ

(株)コミュニティジャーナル〔えびすFM〕
代表取締役

頑張ろうとする人達を
応援し、ラジオを通して
元気についたい。

— コミュニティ FM を開設したきっかけは?

もともと、唐津や北九州のケーブルテレビの会社に 28 年間いました。ケーブルテレビ一筋でした。独立した理由は二つあって、一つ目は長くいた北九州の会社が合併によって大きくなりすぎたこと。私としては小さな組織がやりやすかったんです。そして、もう一つは 40 歳のときに小倉でマンションを買っていたのですが、そのまま小倉で人生を終えるのは違うなと思ったことです。そんなことを考えているとき、地元の佐賀を 32 年ぶりに思い出したんです。そして早速 GW を使って佐賀の街なかへいざ足を運んでみると…。商店街が寂れている。「小倉は私がいなくても大丈夫だけど、佐賀は私を必要としている」と思ってみました。これが開局する 2 年前のことです。そんな話を小倉のコミュニティ FM の社長と話していたら「池田さん、コミュニティ FM を佐賀に作ってみたら? 47 都道府県で佐賀と柄木だけないんよ(当時)」と言われたんです。

— 開設すると決めてからは…

コミュニティ FM を開設するにあたっては、まず発起人会を作って会議を重ね、同時に株主を集め動きをしました。当時は佐賀で同級生以外何の入脈もなかったので、呉服元町にカフェをオープンし、そこで人脈をつくっていくことにしたんですが、今振り返るとそれが正解でした。今しゃべっている人、繋がっている人の多くは、その当時カフェに来た人達なんです。改めて人と人が繋がれる場所ってすごくいいなって感じています。ただその後、東日本大震災が発生して木造では不安な面が多々ある感じたので、鉄筋コンクリートの建物を探し、今の場所で開設することになりました。

— コミュニティ FM が街なかにあることの意義とは?

それはやっぱり「人が集まる場」になれる事。会社として「人と人をつなぐ」をコンセプトにしており、ここで人と人が出会い、何かやろうと思っている人が頑張ると思える応援をしています。例えば、街でイベントを楽しむ人や、お金がないから告知も難しいという場合に、そういう方々を応援することで一人一人が元気になり、点と点が繋がり線や面となり、そして NPO を作ったことで元気になっていくみたいな…。そういう動きを作ることが目的なんです。

「メディアは誰のもの?」

それが、メディアの仕事に携わってきた私の長年のテーマでした。「街が良くなる、地域がよくなる」というのが、ここで暮らしていくみなさんの共通の願いであり、地域メディアの役割です。だからこそ、えびす FM がないとダメだね、地域に必要なメディアだと言われるぐらいの存在にならないといけないのです。



— 社会的課題を解決する事業、そして事業継続について

具体的にはイベントではなく、本当に困っている人がいる事業、例えば、お年寄りたちと若者を繋げていくとか、子育てママに必要な情報サイトをつくるとか、中山間地域のお困りごとを解決するためにボランティアしたい企業団体とマッチングするお手伝いをするとか、地域の課題解決に繋がる事業を行ってきました。そして最近はラジオ局に併設してコワーキングスペースを作りました。目的は、県外から来た人達から「佐賀の街なかには、ふらっと立寄ってパソコンを開き仕事できるようなところがない」という声があり、この課題を解決するため。もちろん、会社としては県外から佐賀へ来た人と出会い、そこで新たなビジネスを創出するという目的もあります。

そして、個人的には、佐賀市の旧老舗旅館「松川屋」を活用するための市民団体「松川屋を核とした新馬場通りの活性化実行委員会(略称: 松川屋再生プロジェクト)」の立ち上げです。2 年位前に建物の中を見学する機会があり、非常に綺麗な状態で残されていたので、閉めたままにしておくよりも活用したほうが良いと呼びかけ、10 人ほどの有志で始めました。この活動は、松川屋をこうしていこう! という明確な目標すべき像があるわけではなく、日々の暮らしの中に、新馬場通りの松川屋というのがあって、ここを核に人の交流や様々な活動を創出し、それを守り続けていけるきっかけにしていければと考えています。だから、地域の方や学生さん等と一緒に DIY も進めていますし、現にその他の動きも活発になってきています。

ただ、いろんな事業の継続をするためには、「運営資金をどうやって稼いでいくか」が重要な課題です。松川屋再生プロジェクトでは、クラウドファンディングも活用しましたが、ラジオ局自体では、やはり広告が必要です。ラジオを通して頑張るとする人達を元気にしたいという想い。そして、たった一人のためでもいい、想いを伝えることができるメディアであります。そういう想いに共感していただける企業様に広告を出していただいている。

— これから の コミュニティ FM について

ラジオ番組にしろ、新規事業にしろ、やりたいと思う人にしゃべってもらいたいし、事業も一緒にやっていきたい。やりたくないのに無理にやらせても意味がないので。そして毎年、課題は変わってきます。まずはやってみて、だめだったらやめればいい。うまくいきそうだったら続ければいい。そういう考えがベースにありながら、「人が集まる場」として、コミュニティ FM のるべき姿、未来を築いていきたいと思います。

(聞き手: 庄野 雄輔)

[INFORMATION]
えびす FM ☎0952-97-9699 ● 佐賀市白山2丁目7-1エスプラツ1F ● <https://ebisufm.com/>

街なか かわらばん INFO ごあんない

ご意見・ご感想、お問い合わせはコチラへ

街なか かわらばん 編集室

〒840-0826 佐賀市白山2丁目7-1 エスプラツ2F
[特定非営利活動法人まちづくり機構ユマニテさが内]

TEL 0952-22-7340
FAX 0952-22-7346
MAIL kawaraban@humanite-saga.com

「コロナ禍でもできる方法、支持していただける方法を考え実行する」マイナス要素なんか上げらるきがないので、何事もプラス思考で行動しましょう!

(編集長 庄野 雄輔)

スマートフォンをお持ちの方はどちら iPhone をお持ちの方はどちら ANDROID APP on Google play 下記 QRコードを読み取る、各ストアで「ミズお薬手帳」検索

スマートフォンをお持ちの方はどちら iPhone をお持ちの方はどちら ANDROID APP on Google play 下記 QRコードを読み取る、各ストアで「ミズお薬手帳」検索

スマートフォンをお持ちの方はどちら iPhone をお持ちの方はどちら ANDROID APP on Google play 下記 QRコードを読み取る、各ストアで「ミズお薬手帳」検索

スマートフォンをお持ちの方はどちら iPhone をお持ちの方はどちら ANDROID APP on Google play 下記 QRコードを読み取る、各ストアで「ミズお薬手帳」検索

●アートディレクション・デザイン/松本健児(PINEBOOKS) ●イラスト/山本翔(CIEMA) ●ライター/茶圓形、清家麻衣子、桑原康子、谷口幸恵、高橋香歩、大坪美和、庄野雄輔

人とまちをつなぐローカルメディア

街なか かわらばん

TAKE FREE
さが

2021.3.15 号

no.48
Machinaka Kawaraban

街なかのおすすめ賃貸情報更新中!

www.kawaraban-web.com

「特にココロに 残った取材先」特集

いよいよ春です! 新型コロナウイルスについては依然として気が抜けない状況ですが、春の陽気の中、公園でのお散歩やカフェでブレイクタイム、そしてティクアウトグルメやちょっとしたお買い物など、コロナ対策を意識した上で動きを広げたいものです。そこで今回は市民ライターさん達が今まで自分で足を運んで特に印象に残った取材先や、他のライターさんの記事を読んで実際に足を運んでみた所の中から「もう一度紹介したい」と思ったお店やスポット、それらを紹介することで、ローカルメディアとして明るい話題や情報を伝え続けていこうと思います。春の街歩き、思う存分お楽しみくださいね!

01 気持ちや体の切り替えに

ライター
星占い・ローラボサキ女子ライター
茶圓 彩

私は「木造建築の落ち着く場所」という観点から、3 つの場所をご紹介したいと思います。

まず1つ目が願正寺です。ここは私が初めて行った取材先で、「てらヨガ」のことについてお聞きしました。とても緊張していたのですが、木の香りに包まれて、体をほぐしたのでだんだんリラックスしてきて、眠くなりそうになったことを覚えています。このような状況下で、日頃の不安や焦りで硬直してしまった体をリフレッシュするためにぜひ訪れて欲しいです。熊谷住職が「無理をしないこと」を大事にしていたことが思い出されます。

この時期だからこそあえて「無理をしないこと」が心のゆとりのためにも必要になってくると思います。あと願正寺は桜垂れ桜や音楽イベント「てらおん」もおすすめです。



「てらヨガ」の様子(願正寺)



すらりとぶ桜垂れ桜(願正寺)

次は、パインブックス。ここはスタッフさんがセレクトした本が並ぶ古書店です。私が訪れた時は晴れていて、日の光が窓の中に差し込んでいました。ここも同様に木造の建物。店内でコーヒーを飲んだり本を読んだりしながらリラックスできる場所になっています。今は家で過ごす時間が長くなっているので、ここで本を買って家でゆっくりしてみても良いのではないかでしょうか。

そして最後が紅葉(くれは)です。ここでは店主の岡本さんによってブレンドされた和紅茶を楽しむことができます。最近では、限定販売の「紅寒梅」に注目したいところ。店内は昔ながらの建物の中におしゃれな空間が広がっていて、色々とどりの紅茶が並んでいます。内装がとっても可愛いです。

どのお店も、日頃溜まった疲れを癒すための場所としてご紹介しました。訪れるのも楽しく、また家でゆっくり過ごすためにも楽しみを持ち帰れる場所になっていきます。



INFO 01-1
願正寺
☎0952-23-4001
佐賀市呉服元町6-5

INFO 01-2
PINEBOOKS
☎0952-29-2069
佐賀市大財4丁目1-57

INFO 01-3
和紅茶専門店 紅葉(くれは)
☎0952-37-6718
佐賀市柳町4-7



02 カフェが好き♪

ライター
大分・佐賀フライヤー座女
清家 麻衣子

今回は「何度も行きたい♪街なかのおスメカフェ!」という切り口でセレクトさせていただきました。

まず紹介するのは「カフェラバサンス」。フランス・ブルターニュ地方の郷土料理である、ガレットを頂くことができる貴重なカフェです。私が取材中に思わず見入ったのは、室内に飾られた独創的なオブジェや小物たち。芸術の都パリ、という言葉が示すようにフランスを感じはじめるヨーロッパ圏ではアート活動が盛んです。社会全体の芸術に対する敬愛は深く、公的なサポートも厚いのだと。



656 広場横です(カフェラバサンス)



オーナー園田さん(カフェラバサンス)

店内では時折ピアノの生演奏が流れ、優雅なカフェタイムを満喫できます。

次に紹介するのは「トネリコ・カフェ」。街なかでモーニング…といえばこちら! オープンは朝 8 時です。コーヒーとトーストに卵や果物、サラダなどを追加できる 3 種類のモーニングコースがあります。栄養バランスも良い温かな食事で、いつもの朝より元気が出ること間違いなし! 私が取材中、気になったのは食器について。どれも個性的でかわいいものばかり。店主自らセレクトしたこだわりの作品とのことですので、モーニングと共に楽しんで下さいね。

最後に紹介するのは「猫カフェコロン」。猫たちの可愛い寝顔や仕草に、一瞬で心を奪われる癒しの空間です。殆どの子は心無い被棄による衰弱状態から、様々な人の善意を受けてコロンに辿り着きました。取材中、大好きなママ(店主)の膝を取り合い甘える姿を見て、後を立たない動物被棄、殺処分問題、保護活動に尽力する人たちなど、ベットを取り巻く社会問題も考えさせられました。愛玩動物飼養管理士の資格を保有している店主は猫はもちろんのこと、ベットに関する法律や保険に至るまで知識も豊富。SNS で日々発信される、猫たちの様子を見るのも楽しみの一つです。

まだまだ佐賀の街なかには、こだわりの個性派カフェが沢山あります。自分がお気に入りの場所を、ぜひ見つけてくださいね。



INFO 02-1
カフェラバサンス
☎0952-97-9378
佐賀市白山2丁目5-19

INFO 02-2
トネリコ・カフェ
☎090-1978-0993
佐賀市中央本町7-8
豊博ビル2F

INFO 02-3
猫カフェコロン
☎0952-37-8226
佐賀市中央本町7-8
豊博ビル2F